

ごみコミえべつ



買い物には
マイバッグを持って
ごみとなるレジ袋を
減らしましょう

第25号 平成18年3月31日

発行 / 江別市 〒067-0051 江別市工栄町14番地の3
企画・編集、お問い合わせ / 環境室TEL 383-4196
ホームページ <http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/>

家庭ごみ有料化実施後の状況 (指定ごみ袋・ごみ処理券交付状況)

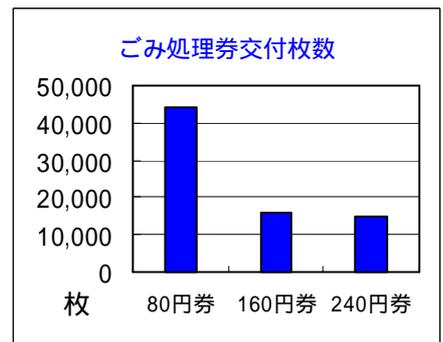
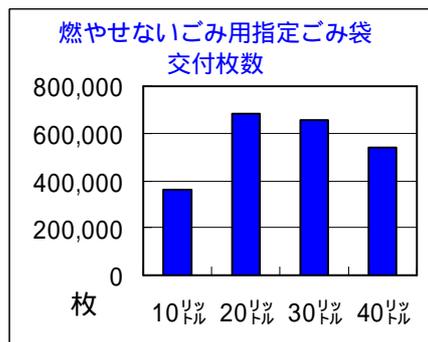
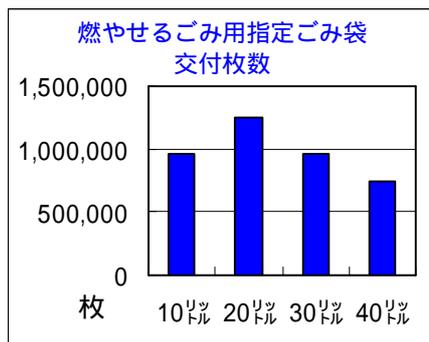
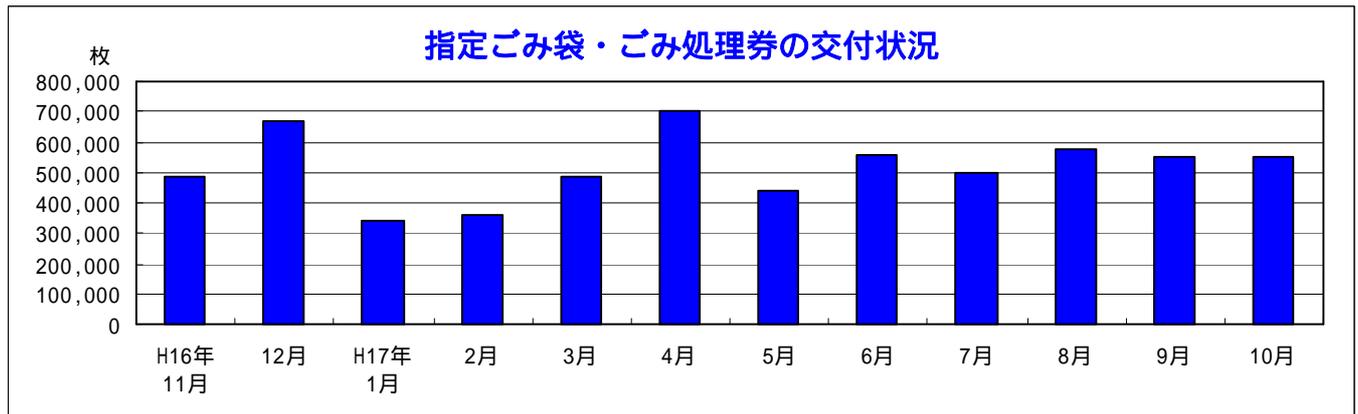
平成16年10月1日から、「燃やせるごみ」と「燃やせないごみ」の収集・処理を有料にさせていただきましたが、市民の皆さんのご協力により、ごみ量は、平成15年度と比較して約30%減りました。

右の表のとおり、指定ごみ袋・ごみ処理券の1世帯当たり1か月の使用枚数が平均10枚ですので、1か月の収集日のうち、1～2回はごみを出さない日があるということになり、皆さんのごみ減量への熱意と努力がうかがえます。

下のグラフを見ますと、12月と4月の交付が多くなっています。これは、暮れの大掃除や引っ越しシーズンということが考えられます。大掃除や引っ越しの際には、リサイクルバンクなどを利用されるなどして、一層のごみ減量に努めていただきますようご協力をお願いいたします。

指定ごみ袋・ごみ処理券の交付枚数年間合計	1世帯当たりでは	
	年間	1か月
623万枚	120枚	10枚

手数料収入の年間合計	1世帯当たりでは	
	年間	1か月
3億1345万円	6千円	500円



毎日の暮らしの中でごみを減らす工夫を(3R)

市内の家庭から出る1年間のごみの量は、約3万5千トン(平成16年度)であり、市民一人1日当たりでは772グラムを出している計算になります。

「燃やせるごみ」の約38%が生ごみです。生ごみは8~9割が水分ですから、水分を減らすだけで一人1日160グラム(りんご約1個分)のごみを減らすことができます。

限りある資源を大切に地球に負荷をかけないために、毎日の生活の中で一人ひとりが創意工夫して、ごみを減らしていきましょう。

減らす (Reduce)
ごみを出さない工夫を



創意工夫でごみダイエット

生ごみから水分をなくすために、くずかごの中に袋を入れ、その上を新聞紙やチラシなどでおおって、直接、野菜くずや果物の皮などを入れると空気中で水分が蒸発、乾燥するため、においがなくなります。

食材は、必要なものだけを買って、食事の準備は、食べ残しのないよう準備しましょう。

お茶がらは、一度水分を切り上記方式のくずかごを活用しましょう。

食材の残りは、堆肥化するなど有効活用を

再利用する (Reuse)
まだ使えるものは、有効利用を



買い物でのごみダイエット

食材は、まとめ買いせず計画的に
買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋は貰わない。
詰め替え用品の購入に努めましょう。
紙コップ、紙皿など使い捨て商品は使わない。
修理可能なものは直して長く使いましょう。

暮らしの中でごみダイエット

リサイクルバンク、フリーマーケット、リサイクルショップなども利用しましょう。

修理可能なものは、直して長く使いましょう。

再資源化する (Recycle)
貴重な資源を無駄なく活用

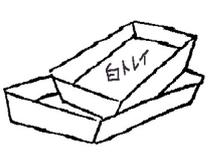


「資源物」の分け方・出し方 ルールを守って快適な生活を

「資源物」の収集日に資源物以外の「燃やせないごみ」を出したり、数種類の「資源物」をひとつの袋に入れて出したりする方がまだ見受けられますが、この場合、市では収集しません。

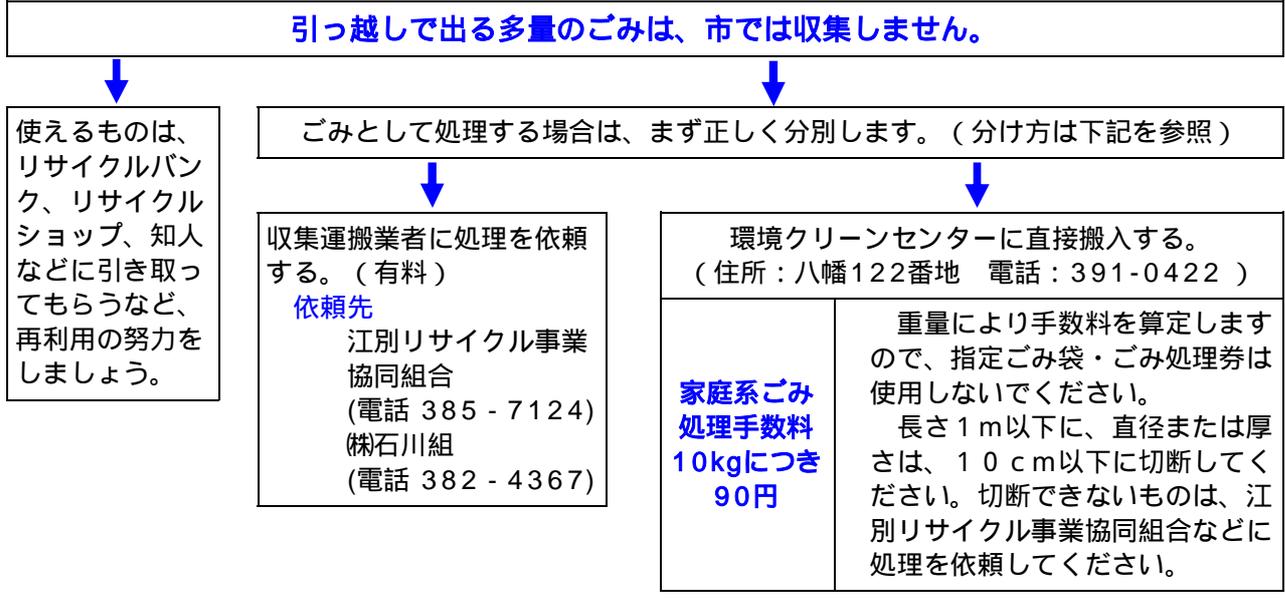
市で収集する「資源物」は、下図の5品目です。必ず「分別の手引き」と「収集日カレンダー」を確認し、正しく出してください。

なお、「資源物」は、透明、半透明で中身が見える袋に入れて出してください。

	びん	かん	ペットボトル	紙パック	白色トレイ
資源物の収集日に出すもの	 ふたをはずし、水ですすぐ	 水ですすぎ、軽くつぶす	 ふたと帯をはずし、水ですすぎ、軽くつぶす	 水ですすぎ、開いて乾かす	 ラップなどを取り除き、水ですすぐ
資源物の収集日に出せないもの	汚れがあるもの、中身が残っているもの 汚れなどを取り除いて出し直す。困難な場合は燃やせないごみへ		スプレー缶、ガスカセット缶 危険ごみへ	コルク栓、内側が白色以外の紙パック 燃やせるごみへ	
	<ul style="list-style-type: none"> 食品以外の化粧品などのびん びん以外のガラス製品、耐熱ガラス製品 ミルクかんより大きい缶、 カップめん、納豆の容器、魚箱類 		<ul style="list-style-type: none"> ペットボトル状の容器で上記材質マーク以外のもの 上記のマークがあるがボトルでないもの(卵パックなど) キャップ類(コルク栓を除く)やペットボトルの帯 色つきや柄が印刷されているトレイ類 表面がビニールコーティングされているトレイ類 		
	燃やせないごみへ				

引っ越しごみは正しく処理しましょう

引っ越しごみの処理方法



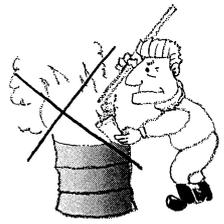
引っ越しごみの分別	燃やせるごみ	生ごみ、紙類、木製品など
	燃やせないごみ	金属類、ガラス類、プラスチック類、ビニール類など
	資源物	びん、かん、ペットボトル、紙パック、白色トレイ 資源物は、市の収集日にごみステーションに出すほか、地域で行っている集団資源回収(ペットボトル、白色トレイは除く)もご利用できます。 雑誌、新聞紙、ダンボールなどは、市が収集する資源物ではありません、地域の集団資源回収をご利用ください。
	危険ごみ	スプレー缶、ガスカセット缶、乾電池、ライター、蛍光管など 危険ごみは、市の収集日に出してください。

市では収集しないごみ	テレビ、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機、エアコン	家電リサイクル法に基づき、処理にはリサイクル料金と収集運搬料金がかかります。
	パソコン、パソコンディスプレイ	資源有効利用促進法に基づき、メーカーが回収・リサイクルの受付窓口になります。
	電子レンジ、ピアノ、エレクトーン、オルガン、耐火金庫、消火器、バッテリー、タイヤ、ガスコンロ、石油ストーブ、農薬、解体できない大型ごみなど	江別リサイクル事業協同組合などへ依頼してください。 「分別の手引き」を、必ずご確認ください。

不法投棄・野外焼却(野焼き)は犯罪です！！

ごみをみだりに捨てることは、法律で禁止されています。
違反した場合は、5年以下の懲役もしくは1,000万円以下の罰金、又はこの両方が科せられます。
不要になったものは、適正に処理し、不法投棄は絶対にやめましょう。

ごみをドラム缶、素掘り穴などの野外で燃やしたりする行為、いわゆる「野焼き」は、法律で禁止されています。
違反した場合は、3年以下の懲役もしくは300万円以下の罰金、又はこの両方が科せられます。
野焼きは、煙、すす、悪臭などにより、周辺の住民に迷惑をかけるだけでなく、ダイオキシン類や塩化水素などの有害物質が、発生する原因にもなります。
不要になったものは、適正に処理し、野焼きは絶対にやめましょう。



不法投棄・野焼きを見かけたら、廃棄物対策課へお知らせください。

江別市指定ごみ袋等取扱店一覧

(平成18年3月1日現在追加分)

	町名	店名	住所	備考
お	大麻中町	サンクス 大麻店	大麻中町49番地の1	大麻駅北口となり
ぶ	文京台	セラーズ 森林公園店	文京台66番地の12	12号線・札幌市境
み	緑町	サンクス 緑町東店	緑町東1丁目69番地の1	2番通・公園通り
も	元江別	コープさっぽろ えべつ店	元江別779番地の1	4番通方面・5丁目通
や	弥生町	ローソン 江別弥生町店	弥生町35番地の9	12号線・5丁目通

「指定ごみ袋等取扱店」を引き続き募集しています

市では、指定ごみ袋・ごみ処理券を取り扱う「指定ごみ袋等取扱店」の募集を随時行っています。詳細は、廃棄物対策課（電話383-4196）にお問い合わせください。



「公共ごみ」の出し方・「公共ごみ袋」の使い方

「公共ごみ」とは

地域一斉清掃のごみ
公園・道路の清掃奉仕などボランティア活動によるごみ
公園などから飛散した落ち葉など
自治会館の中や敷地の清掃によるごみ
飲食を伴わない自治会の催しによるごみ

「公共ごみ」の出し方

「燃やせるごみ」と「燃やせないごみ」に分けて**公共ごみ袋**に入れ、それぞれの収集日にごみステーションに出してください。
地域一斉清掃などで大量の場合は、通常の収集とは別に収集しますので、事前に廃棄物対策課へ連絡したうえで、「燃やせるごみ」と「燃やせないごみ」に分けて、ごみステーション以外の場所にひとまとめにしてください。



「公共ごみ袋」配布担当者（美化推進員）の方へ

平成17年度公共ごみ袋配布枚数年度末報告を、5月27日までに廃棄物対策課へ提出願います。

環境室廃棄物対策課

住所 工栄町14-3
電話 383-4196
FAX 382-7240

カラスによる被害を防ぐために

「ごみステーション」でカラスによってごみが荒らされる被害が目立っています。

カラスは、非常に目が発達していて、物を識別する能力が高いと言われています。ごみ袋の中の「生ごみ」を見つけると袋をクチバシで突っついて破り周辺を散らかし、生活環境に悪い影響を及ぼします。

これらの被害を防ぐには、エサとなる「生ごみ」の適切な出し方が不可欠であり、ごみの出し方の工夫など粘り強い努力も必要で時間が掛かりますが、ある程度解消することができます。



生ごみを減らす

食品の無駄をなくし、生ごみの水分を十分切り、生ごみそのものを減らすことが大切です。

生ごみを隠す

カラスは目でエサを探すと言われています。生ごみをビニール袋などの小袋に入れ、その袋を新聞紙、チラシなどで二重に包み、中身を見えなくして、他のごみと指定ごみ袋に入れます。

ごみネットを使う

カラスが上空から見えないようにごみの置き方の工夫をしたり、ごみネットでごみ全体をしっかりと覆い、さらにネットのふちに重しなどをします。

収集日を守る

収集日の前日や収集後にごみを出さない。
ごみは、収集日の朝9時までに出しましょう。
ごみステーションは、利用する皆さんが自主的に管理する場所です。日頃から環境美化に努めましょう。

個人の方や自治会などでカラスの被害を防ぐ方法で成果をあげている事例がありましたら、廃棄物対策課へお知らせください。

(住所 工栄町14番地の3 電話 383-4196 FAX 382-7240)